

第 22 回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

■日 時：令和 4 年 3 月 1 5 日（火） 1 0：0 0～1 2：0 0

■場 所：刈谷市役所 5 階 5 0 2 会議室

■出席者：会長を含む委員 2 2 名（欠席者 3 名、代理出席 5 名）
事務局 6 名、随行者 1 名

■議 題：

- （1）刈谷市都市交通協議会財務規定について
- （2）刈谷市都市交通戦略中間改定時期の延期について
- （3）刈谷市地域公共交通計画について
- （4）地方創生推進交付金事業（バスロケーションシステム）の効果検証について

■報告案件：

- （1）都市交通戦略関連個別事業の進捗状況について
- （2）自転車活用推進計画の策定について
- （3）JR 刈谷駅総合改善事業について

■意見概要（発言順）：

- （1）刈谷市都市交通協議会財務規定について
 - ・一同、異議なし。
 - ・磯部会長より、出納員に都市交通課長、監事に岡田委員が指名された。

（2）刈谷市都市交通戦略中間改定時期の延期について

	主な意見	回答・対応方針
1	・中間改定時期の延長により、目標年次は変更するか。	・現時点で目標年次の変更は考えていないが、中間改定の際には社会情勢等を踏まえながら柔軟に対応したいと考える。
2	・地域公共交通計画が先に策定されるが、都市交通戦略との整合は。	・地域公共交通計画の内容を都市交通戦略に反映させる。

- ・一同、異議なし。

(3) 刈谷市地域公共交通計画について

	主な意見	回答・対応方針
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の需要に対して、全てをバスサービスで賄う必要があるのか。個人の需要に対してはハイエースなど小さい車両で運行するデマンド交通のような交通サービスを設けてもよいのではないか。 ・有料化を検討しているならば、計画に記載すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な方法や考え方については今後検討する。 ・有料化については、事務局にて検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町では免許返納者に対するタクシー割引チケット等を配付するなどしているが、この計画で免許返納者の交通手段としてバスに限定する必要はないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに限定せず、引き続き施策を検討する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「かりまる」全てを有料化する訳ではなく、サービス面で有料・無料を使い分けていくことはあるかと思う。福祉と連携しながら、整理していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、検討する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「かりまる」の在り方について、公共施設への移動のみならず、市民生活に根差した公共交通に転換していく必要があるため、理念を持って計画策定に取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行目的も含め、市民の生活様式に合った公共交通を検討していく。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関する記載を計画に盛り込むことは可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載する方向で検討する。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域毎で交通の状況が異なると思うが、アンケート調査はどのように実施されたか。先ほどもハイエースなど小型の車両を使用するとの意見もあるため、検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民1,900人を対象に、地域や年齢で偏りが無いよう無作為抽出にて実施している。地域ごとの課題を整理し、その特性を踏まえどのような交通手段が適するか検討する。

・一同、異議なし。

(4) 地方創生推進交付金事業（バスロケーションシステム）の効果検証について

	主な意見	回答・対応方針
1	<ul style="list-style-type: none"> ・かりまるバスガイドの裏面にバスロケーションシステムについて記載されているが、これでは目立たない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策を検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は平成28年度から令和2年度の5か年が事業期間となっているが、今後も継続して事業を行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度で一度区切りとなる。5か年で13か所に設置してきたが、バス路線再編に合わせて今後も検討は続ける。

・一同、異議なし。

(5) その他

	主な意見	回答・対応方針
1	・自転車活用推進計画の中でシェアサイクルを検討いただきたい。	・当該計画の策定委員会の方で具体的な施策を今後検討するため、参考にさせていただく。
2	・自転車と公共交通の共存についても検討いただきたい。	・自転車と公共交通の接続についても、検討する。
3	・自転車ネットワークと公共交通ネットワークの整合を図りながら、上手く組み合わせていただきたい。	